

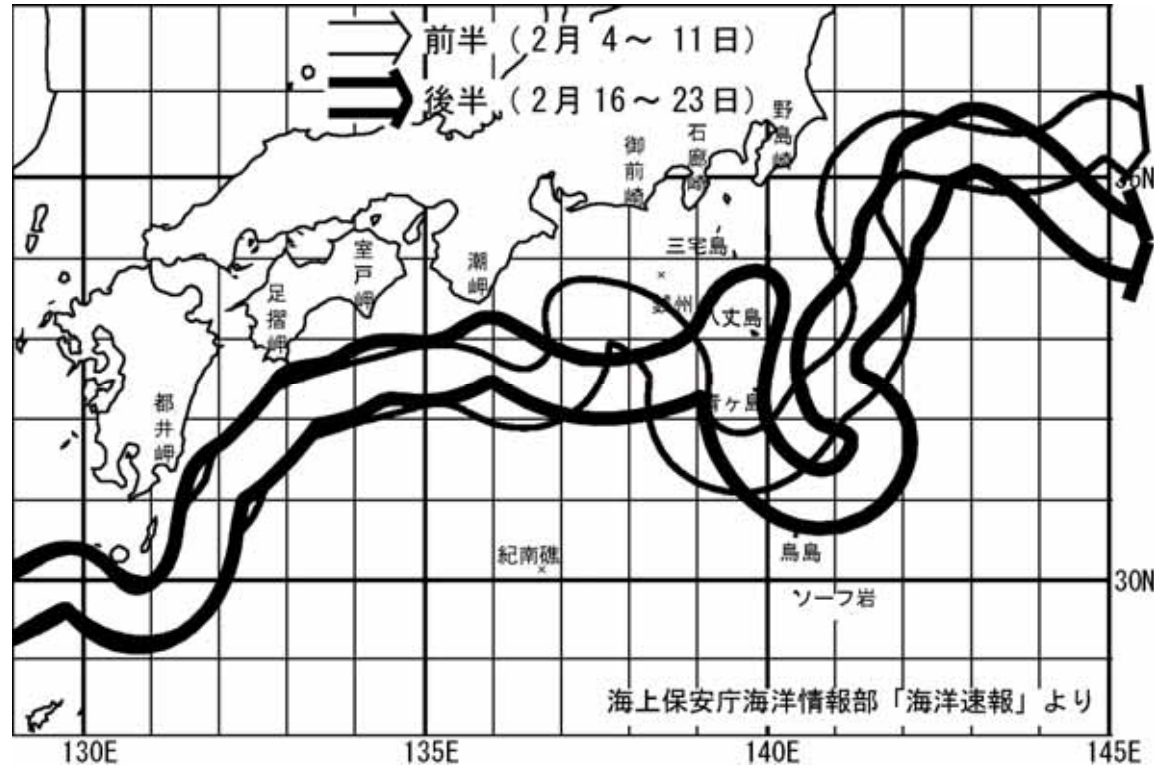
# 漁海況月報

平成27年 2月 1日

No. 2

～2月28日

静岡県水産技術研究所  
(電話 054-627-1815)  
静岡県水産術研究所 伊豆分場  
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 ( ) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.1	14.4	14.3	13.5	13.4	13.6	10.5
	0.1	-0.1	0.5	-0.9	-0.6	0.1	-1.0
中旬	13.0	14.0	13.6	12.9	13.2	13.6	10.4
	-0.9	-0.1	-0.1	-1.4	-0.8	0.2	-1.3
下旬	13.4	14.8	14.5	14.8	15.9	14.7	12.4
	-0.3	0.7	0.8	0.5	2.2	1.4	0.7
月	13.5	14.4	14.1	13.7	14.1	13.9	11.0
	-0.3	0.1	0.4	-0.7	0.1	0.5	-0.6

## [ 黒潮流路 ]

前半の黒潮は、潮岬で離岸し、熊野灘沖で北へ蛇行した後、遠州灘沖から南に向かい、伊豆諸島付近で32°N付近まで離岸した。その後、140°E付近から北東に向かい、房総半島沖へ流れた。後半は、熊野灘沖の小蛇行は伊豆諸島付近まで東進した。伊豆諸島付近で31.5°N付近まで離岸した後、141°E付近を北上した。小蛇行の北上部から駿河湾に暖水が波及した。

## [ 県下沿岸域 ]

上旬は、下田で「やや高め」の他は「平年並」～「やや低め」であった。中旬は、全域で「平年並」～「やや低め」であった。下旬は、相模湾側では伊東で「平年並」の他は「やや高め」、駿河湾東部では「平年並」～「高め」、駿河湾西部では「やや高め」であった。

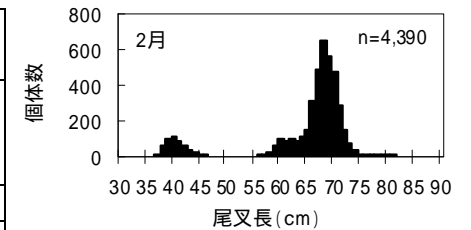
## [ 竿釣カツオ ]

2月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海竿釣り船によるカツオの水揚量は212トンで前年同期の2.4倍であった。魚価は230円/kgで前年同期を下回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、21～23°N、139～143°Eの中南海域で、特大(尾叉長68cmモード)カツオを主体に極小(尾叉長40cmモード)カツオを漁獲した。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	水揚/隻(トン)	平均単価(円/kg)
27年 2月上旬	136	5	27.2	214
中旬	43	2	21.7	211
下旬	32	2	16.2	321
27年 2月計	212	9	23.5	230
26年 2月計	89	6	14.8	365
25年 2月計	212	10	21.2	211



御前崎港における測定結果

## [ 定置網 ]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は303トンで前年の同漁場の水揚量(581トン)の0.5倍となった。また、1か統あたりの水揚量は43.2トンで前年(83.0トン)の0.5倍、平年(昭和57～平成26年の平均30.4トン)の1.4倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとブリ、さば類、スルメイカの順に多かった。

ブリは谷津、川奈漁場で、さば類は北川漁場で大半を占めた。スルメイカは北川漁場で、カタクチイワシは古網、伊豆山漁場で大半を占めた。さば類はゴマサバ主体で、ブリは銘柄「ぶり」主体であった。

漁場別の漁獲量は、多い順に北川漁場が80.5トン(さば類、スルメイカ、ブリなど)、川奈漁場が73.2トン(ブリ、さば類など)、谷津漁場が62.7トン(ブリなど)であった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	139.2	1.4	8.2	谷津、川奈、富戸
さば類	76.4	0.7	3.6	北川、富戸、赤沢
スルメイカ	34.0	0.2	1.3	北川、川奈、富戸
カタクチイワシ	33.8	0.2	0.6	古網、伊豆山
アジ	5.8	1.4	0.3	伊豆山、赤沢、川奈

[ 調査船駿河丸の動向 ]

2月 2日 ~ 2月 4日	地先定点観測調査	(3日間)
2月 20日	海上試運転	(1日間)
2月 24日	漁業無線伝達訓練	(1日間)
2月 25日 ~ 2月 26日	イワシ類卵稚仔分布調査	(2日間)

[サバたもすくい棒受網]

小川港ではマサバの水揚げが750トン(前年同月比140%)、ゴマサバの水揚げが110トン(前年同月比113%)であった。1隻あたりの水揚量はマサバ17.4トン(前年同月比149%)、ゴマサバ2.6トン(前年同月比124%)であった。1kgあたりの平均単価はマサバが295円で前月(409円)、前年同月(301円)を下回り、ゴマサバは198円で前月(120円)、前年同月(170円)を上回った。

今月はたもすくい網のみの操業で、漁場は三本に形成された。マサバは36cmにモードを持つ4歳魚が主体、ゴマサバは31cmにモードを持つ2歳魚が主体であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
27年2月上旬	328	69	4	20	16.4	3.0	400	243	三本
中旬	215	11	4	12	17.9	0.9	294	130	三本
下旬	206	30	3	11	18.7	2.7	129	117	三本
27年2月 計	750	110	11	43	17.4	2.6	295	198	三本
26年2月	536	97	13	46	11.7	2.1	301	170	三本
25年2月	459	235	11	36	12.7	6.5	182	80	利島、三本

\* 水揚量は、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[まき網]

小川港のマイワシの水揚量は193.5トン(平年同期427.2トン)であった。沼津港のマイワシの水揚量は647.9トン(平年同期548.5トン)で、カタクチイワシの水揚げは無かった。静浦港のマイワシの水揚げは無く(平年同期の水揚げも無)、カタクチイワシの水揚げも無かった。伊東港のマイワシの水揚げは無く(平年同期46.6トン)、カタクチイワシの水揚量は35.0トンであった。

平年同期：過去5か年(2010~2014年)平均値

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは..... <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海況速報を見ることができます。

